

札幌駅交流拠点 再整備の基本方針・街区再整備の基本的考え方と具体的取り組みのイメージ

2011. 3. 25

	札幌駅交流拠点 再整備の基本方針			街区再整備の基本的考え方
	交通結節点機能の形成方針	機能導入方針	パブリックライフ展開方針	
	<p>①空港・港湾・他都市との広域的なアクセス機能の強化</p> <p>②分かりやすいサイン等の整備・情報の提供</p> <p>③利便性の高い交通サービスの提供</p> <p>④機能的な交通施設配置</p> <p>⑤立体的な歩行者動線の提供</p>	<p>①高次都市機能・情報発信機能の充実</p> <p>②産業創造・人材育成機能の導入</p>	<p>①魅力的な都市の風景の創出</p> <p>②協調的呼応空間の形成</p> <p>③まち歩きの基軸回廊の形成</p> <p>④テラスストリートの創造</p>	<p>①5・2街区と5・1街区の一体的な再整備</p> <p>②5・2街区再整備にあわせた南口駅前広場の再整備</p> <p>③5・2街区、5・1街区と連動した4・3街区の再整備</p>
短期的取り組み	<p>②分かりやすいサイン等の整備・情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語表記、ユニバーサルなサイン表記などにより、誰もが理解でき、安心して移動できるサイン等の整備・情報の提供 <p>③利便性の高い交通サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅における乗継施設のバリアフリー化の促進 ・JR、地下鉄、バス共通に利用できるICカードの導入 <p>④機能的な交通施設配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通施設配置の基本的考え方・方針の検討 	<p>①高次都市機能・情報発信機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌総合卸センター、北8西1地区等における商業・業務機能、居住機能等の都市機能の導入 ・誰もがわかりやすい観光インフォメーションなど情報発信機能の充実 <p>②産業創造・人材育成機能の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官による人材育成・支援機能など、「創造都市さっぽろ」を支えるIT産業の更なる充実 ・「北海道フード・クラスタータウン国際戦略総合特区(仮称)」の展開にあわせて、北海道の食に関する情報の受発信およびマーケティング機能の導入 	<p>①魅力的な都市の風景の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4骨格軸・1展開軸・3交流拠点を中心に、日常的な憩いの空間としての活用、各種イベントやフェスティバル等により、魅力的なパブリックライフを展開 ・札幌駅南口駅前広場は、パブリックライフの起点としての利活用を促進 ・行政によるビジョンの明確化、民間による公開空地や緑の提供、パブリックライフにかかわるルールを市民とともに共創 <p>②協調的呼応空間の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌駅交流拠点から骨格軸に連なる都市空間の協調的・一体的な形成を図るため、協議会などの関係者間の協議の場や実施に向けた体制づくり 	<p>①5・2街区と5・1街区の一体的な再整備</p> <p>②5・2街区再整備にあわせた南口駅前広場の再整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5・2街区と5・1街区の一体的な整備に向けた関係者間での協議や手法の整理などの検討 <p>③5・2街区、5・1街区と連動した4・3街区の再整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌駅南口駅前広場に呼応した新たな駅前の顔づくりとして、4・3街区の再開発に向けた検討を進め、札幌駅交流拠点にふさわしい高次都市機能や新たな機能を導入
中長期的取り組み	<p>①空港・港湾・他都市との広域的なアクセス機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新千歳空港との連携強化を目指し、高速ネットワークとのダイレクトアクセス機能の強化 ・新幹線の整備時期、規模などが明らかとなった場合にも柔軟に対応できる施設計画 <p>③利便性の高い交通サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境首都・札幌を実現する路面電車の導入空間の検討 ・観光バス待機スペースやレンタカーサービスの集約といった観光ニーズに応じた機能導入の検討 <p>④機能的な交通施設配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画での位置づけや駅利用者のニーズ・特性に応じて、交通施設配置を再検討し、高齢者や観光客などにも利用しやすいように移動サービスの公平性を確保 <p>⑤立体的な歩行者動線の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季を通じて各種交通機能間のスムーズな連携・連結を果たすために、上空・地上・地下を立体的に活用した歩行者動線を確保 ・大通方面や札幌駅北口方面、創成川以東地区方面を含めて、札幌駅から各方面への歩行者動線の機能強化 	<p>②産業創造・人材育成機能の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境ソリューションビジネスを展開していくための産業創造・人材育成機能の導入(例：北4東6周辺地区の再開発等と連携) ・札幌のさまざまな資源を活用した新たな観光ビジネス(例：定山溪等の温泉地と連携したヘルスツーリズムなど)の企画開発を行うシンクタンク機能の導入 ・新たな健康産業の展開や都心居住を支える医療・健康・福祉ビジネス等のインキュベータ機能、起業化促進・支援機能の導入 	<p>②協調的呼応空間の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南口の駅前街区は、駅前広場と呼応し、かつ性格の異なる広場(例：大樹の木陰広場など)を形成 ・5・1街区および5・2街区の一体的整備が進められる場合には、高層階の「壁面線」を既存の北5西4街区に合わせるなど、協調的な空間形成を誘導 ・屋内外のフットパスの連絡により各街区相互の連携強化と界限空間を形成 <p>③まち歩きの基軸回廊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4骨格軸及び1展開軸に加え、北5条通および北8条通で、ストリート文化が感じられ、パブリックライフが楽しめるまち歩きの基軸回廊を形成 ・北3条まで整備が進められている創成川通の親水公園化をさらに北へ延伸 ・北5条通は、西方にそびえる山々の眺望を妨げないよう街路の植栽の工夫やセットバックなどにより小さな森や大樹の木陰空間を形成 <p>④テラスストリート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺空間が復活した創成川通は、人々がたたずみ、あるいは各種アートイベントなどを楽しむ、札幌都心の新たなパブリックライフを演出する空間として活用(例：札幌駅と創成川以東地区を連結する2階レベルのデッキの整備により「創成川を見る、見通す広場空間を確保」、創成川に降りられるような環境を形成) ・5・1街区の東側は、「四季折々の変化や創成川でたたずむ人々、イベント時の見る・見られる関係をつくる」ため、カフェ・レストラン、展望デッキなどを配置 	<p>①5・2街区と5・1街区の一体的な再整備</p> <p>②5・2街区再整備にあわせた南口駅前広場の再整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌駅交流拠点にふさわしい高次都市機能および新たな機能の導入と駅施設建築物の正面性を向上 ・機能的な交通施設の再配置に取り組み、南口駅前広場の変則タクシープールの解消と北海道らしさを感じる緑豊かな駅前広場空間を創造

短期的取り組み

- ・ JR、地下鉄、バス共通に利用できるICカードの導入
- ・ 行政によるビジョンの明確化、民間による公開空地や緑の提供、パブリックライフにかかわるルールを市民とともに共創
- ・ 札幌駅交流拠点から骨格軸に連なる都市空間の協調的・一体的な形成を図るため、協議会などの関係者間の協議の場や実施に向けた体制づくり

・ 商業・業務機能、居住機能等の都市機能の導入

北8 西1
再開発

- ・ 誰もがわかりやすい観光インフォメーションなど情報発信機能の充実
- ・ 産学官による人材育成・支援機能などIT産業の更なる充実
- ・ 北海道の食に関する情報の受発信およびマーケティング機能の導入

・ 交通施設配置の基本的考え方・方針の検討

・ 商業・業務機能、居住機能等の都市機能の導入

札幌卸センター再整備

- ・ 誰もが理解でき、安心して移動できるサイン等の整備・情報の提供
- ・ 駅における乗継施設のバリアフリー化の促進

・ 一体的な整備に向けた関係者間での協議や手法の整理などの検討

- ・ 4骨格軸・1展開軸・3交流拠点を中心に、魅力的なパブリックライフを展開
- ・ 札幌駅南口駅前広場は、パブリックライフの起点としての利活用を促進

- ・ 札幌駅南口駅前広場に呼応した新たな駅前の顔づくり
- ・ 4・3街区の再開発に向けた検討
- ・ 高次都市機能や新たな機能を導入

駅前通
はぎわいの軸

創成川通
やすらぎの軸

東四丁目線
いとなみの軸

北三条通 うけつぎの軸

中長期的取り組み

- ・路面電車の導入空間の検討
- ・観光バス待機スペースやレンタカーサービスの集約といった観光ニーズに応じた機能導入の検討
- ・交通施設配置を再検討し、移動サービスの公平性を確保
- ・上空・地上・地下を立体的に活用した歩行者動線を確保
- ・札幌駅から各方面への歩行者動線の機能強化

・高速ネットワークとのダイレクトアクセス機能の強化

- ・環境ソリューションビジネスを展開していくための産業創造・人材育成機能の導入
- ・観光ビジネスの企画開発を行うシンクタンク機能の導入
- ・医療・健康・福祉ビジネス等のインキュベータ機能、起業化促進・支援機能の導入

・新幹線の整備時期、規模などが明らかとなった場合にも柔軟に対応できる施設計画

・まち歩きの基本軸回廊を形成

・高層階の「壁面線」を合わせるなど、協調的な空間形成を誘導

・札幌駅交流拠点にふさわしい高次都市機能および新たな機能の導入と駅施設建築物の正面性を向上

- ・機能的な交通施設の再配置
- ・南口駅前広場の変則タグシープールの解消と北海道らしさを感じる緑豊かな駅前広場空間を創造

例 2階レベルのデッキの整備
創成川を見る、見通す広場空間の確保
創成川に直接降りられる環境形成

・駅前広場と呼応し、かつ性格の異なる広場を形成

駅前通
はぎわいの軸

・カフェ・レストラン、展望デッキなどを配置

・まち歩きの基本軸回廊を形成
西方にそびえる山々の眺望を妨げないよう街路の植栽の工夫やセットバックなどにより小さな森や大樹の本陰空間を形成

東四丁目線
いとなみの軸

・屋内外のフットパスの連絡により各街区相互の連携強化と界限空間を形成

・親水公園化を北へ延伸
・人々がたたずみ、あるいは各種アートイベントなどを楽しむ、札幌都心の新たなパブリックライヴを演出する空間として活用

北3条通 うけつぎの軸

